

平成17年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成17年4月24日		記入者	内線	3313
部 名	土木部	課 名	土木計画課	課長名	佐藤繁
事務事業名	隣接市町下水道施設利用負担金				
予算上の事務事業名	隣接市町下水道施設利用負担金				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		32610		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政 策 名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます				
基本施策名	第6節 下水道の整備と管理				事業開始年度
施 策 名	第1施策 汚水対策の推進				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	本市と町田市・城山町との相互排除に関する協定書				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	維持・管理・補修 ▼				
5 事業概要	<p>(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)</p> <p>行政界付近に位置する他市町の下水道施設を利用することに対し、実績汚水量比により負担する。</p> <p>(2) 対象(誰、何)</p> <p>城山町・町田市の污水管を使用して汚水を処理してもらっている市民</p> <p>(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。</p> <p>城山町への流入量 7,233m3</p> <p>町田市への流入量 47,855m3</p>				
6 関連・類似事業や他市の状況	現在町田市とは相互流入をしている。				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	3,222	3,690	2,854	3,997	3,969
一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	3,222	3,690	2,854	3,997	3,969
人件費の合計	420	401	404	404	404
事業コスト合計(a)	3,642	4,091	3,258	4,401	4,373
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	隣接市町下水道施設利用負担金(町田市)			対象名称(単位)	1事業当たり
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	2,897	3,383	2,430	2,874	2,874
対象数	1	1	1	1	1
単位あたり経費(円)	2,897,000	3,383,000	2,430,000	2,874,000	2,874,000
前年度比		1.17	0.72	1.18	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	処理汚水量		指標式と指標の説明	家庭の台所やトイレ、工場等から排出され、処理場に集められ浄化される水（汚水）。		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）	
実績	50,753.0	54,965.0	55,088.0			
目標	50,753.0	54,965.0	55,088.0	57,756.0	57,756.0	
目標達成度	1.00	1.00	1.00			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	汚水処理世帯		指標式と指標の説明	地形等の関係で本市において下水管の布設が困難な地域で、他市町に処理を委託している世帯。		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）	
実績	166.0	190.0	0.0			
目標	204.0	213.0	181.0	200.0	200.0	
目標達成度	81.4	89.2	0.0			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	〔 〕：良好な状態を維持する事業					
	〔 〕：概ね良好な状況である事業					
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		行政境に接する区域の下水を円滑に排除し、その処理に要する費用を相互に負担することにより、区域住民等の便宜を図る互依存事業であり、今後とも継続していく必要がある。		
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと			
事業を継続することにより相互の普及率が上がり、地域住民の生活環境が改善されるため、積極的な整備が求められる。			汚水処理原価が異なるため、負担金に差がある。			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				